

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 ☒ 支 援 部 門					教総－08 特別支援教育事業(中学校)			ザイムスコード及び個別事業名			
									155	特別支援教育事業		
主管課	教育総務課		関連課	部内各課・市立中学校								
分野名	学校教育											
目標 (目標値)	特別支援教育の助成を行い教育内容の充実を図る											
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考								
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)								
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯									
	対象者数	35人	37人									
運営資源 状 況	決算値	1,500千円	1,474千円									
	(国・県)											
	(負担金等)											
	(一般財源)	1,500千円	1,474千円									
	人員配置数	0.2人	0.2人									
	人 件 費	1,888千円	1,874千円									
	協 働 の パートナー											
事務事業 運営経費	総事業費	3,388千円	3,348千円									
	市民1人当 りの経費	19円	19円									
	対象者1人 当りの経費	96,800円	90,489円									
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	平塚市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市						
	公立学校数	—	—	—	—	—						
	公立生徒数	91	35	92	67	45						
	公立学級数	31	10	20	23	7						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・学校備品が老朽化しており、計画的な改善が必要である。										
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・限られた予算の範囲内で優先順位をつけ、効率的な更新や予算執行に努めた。										
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・特になし										
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・特になし										
一次評価(課長評価)						二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了												
評価結果	改善の必要性					評価結果	改善の必要性					
B	無	限られた予算額の範囲内で効率的な 予算執行に努め、より安定した特別 支援教育の学級運営を支援したい。				B	無	予算額の範囲が限られていることに ついては、今後も各学校の理解を得 ながら、充実した特別支援教育の学 級運営を支援したい。				
課長名		教育総務課長 三留 定男				部名・部長名		教育総務部・宮田 茂昭				